

新大学入試

2020年度の大学入試について、文部科学省から以下の発表がされました。

- ・英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入の見送り（2019年11月1日）
- ・大学入学共通テストにおける記述式問題導入の見送り（2019年12月17日）

大学入試はなぜ変わるのか

- グローバル化の進展
- 産業構造や就業構造の転換
- 生産年齢人口の急減
- 労働生産性の低迷



「求められる力」が変化

自ら課題を見出し
周囲と協力して解決する力が
求められるように

求められる力が変われば
学校教育も変わる



教育が変われば
学力の「測り方」も変わる

知識・技能だけではなく、
思考力・判断力・表現力を重視した入試へ

センター試験が「大学入学共通テスト」に代わる

- 1 「**思考力・表現力・判断力**」が
問われるマーク式問題が増える
- 2 英語は**リーディング**と
リスニングが同じ配点になる

個別大学試験における 「多面的・総合的評価」の導入

- 一般選抜でも調査書・志望理由書・小論文・面接などが各大学の必要性に応じて課されるように
- 学校推薦型選抜、総合型選抜でも、学力評価が重視されるように

入試形態を問わず 「調査書」が大切に

<調査書への記載項目>

- 学校の成績
- 課外活動
(部活/委員会/ボランティア/資格・検定試験等)

志望校選択時に確認を 「アドミッションポリシー」

アドミッションポリシーとは
大学が設定する「大学の入学者受け入れ方針」
どのような学生像を求めるかをまとめたもの

- 入試で問われる内容や入試方針にも反映される
- 志望する大学のアドミッションポリシーを踏まえ、高校時代に多様な経験を積むことも大切に